

再評価チェックリスト(事業概要書)

番 号	1		再評価の実施理由	H19年度(採択)より5ヶ年を経過しているため
事業名	林道開設事業		事業主体	能登町
名称	林道 上河内線		箇所名	林道 上河内線
事業内容	位置付け	本路線は、能登町の北西に位置し、能登町森林整備計画において、路線整備として位置付けられており、町道当目大箱1号線と林道鉢伏山線を連絡する林道である。		
	目的	森林の利用区域面積は202haであり、森林の適正な管理や効率的な林業経営の促進を図ることを目的としている。 また、山火事の防止やその他の災害における幹線道路の迂回路としての機能も期待されている。		
	事業概要	1. 総事業費 339,000千円 2. 事業量 計画延長 L=1,629m 道路幅員 W=3.5m 3. 費用対効果 (B/C) 1.98		
	計画期間	着手年度 平成14年度 完了年度 平成26年度	都市計画決定(最新)	都市計画区域外
			事業認可期間	平成14年度～平成26年度

【事業の必要性に関する視点】

事業をめぐる社会情勢の変化	木材価格の低迷など森林を取り巻く環境が厳しい中で森林の適正な管理を推進していくためには、手入れの必要な森林への到達や間伐などの森林整備を図るため路線の整備が不可欠となっている。			
事業の投資効果	○費用対効果分析 ・効果/費用 = 750,896千円/378,397千円 = 1.98 効果(水源地保全効果、木材生産利用効果、森林整備縮減効果、アクセス短縮効果)			
事業進捗状況	全 体	H23年度まで	進捗率	今後の見通し
事業量(面積)	1,629m	1,362m	83.6%	平成25年度に事業完了予定である
工事費(千円)	339,000	276,000	81.4%	
用地買収補償費(千円)	0	0	—	
事業費計(千円)	339,000	276,000	81.4%	
利用状況及び住民の意向	森林の適正な管理や高率的な林業経営の推進が図られる。また、災害時における迂回路としての役割も大きく地元からの要望も強く、早期完成が望まれている。			

【事業の進捗上の見込みに関する視点】

今後のスケジュール	平成14年度の事業着手以来、順次に事業を実施しているところであり、平成25年度、残延長140mを施工し完了となる予定である。
事業が長期にわたる理由	当計画路線は、地形が急傾斜であり、冬期間の積雪量も多いことから単年度における工事期間が制限されるなど全線開通までには長期計画とならざるを得ない状況である。

【コスト縮減や代替立案等の可能性】

コスト縮減や代替立案等の可能性	
対応方針案	
理由	